「もう動かすな原発! 福井県民署名」

2016年1月29日発行

越前市実行委員会ニュース

越前市実行委員会事務局 原子力防災計画を考える越前市民の会

2016年も早1カ月が過ぎようとしています。皆さまお元気でご活躍のことと存じます。 川内原発に続き、1月29日には、高浜3号機が稼働します。福島があのような状況の中本当に暗澹たる思います。今年も諦めず引き続き活動を進めましよう。

2016 年高浜原発が再稼動される

原子力防災計画を考える越前市民の会 代表 若泉 政人

昨年12月24日、福井地裁は高浜原発3、4号機運転差し止め仮処分決定異議審にて、運転差し止めの原決定を覆しました。昨年4月14日の原決定において、「緩やかに過ぎる」と否定された原子力規制委員会が策定した新規制基準の基準地震動も、「合理的」であると原決定と真逆の判断がされており、その帰着点は原子力規制委員会の信頼性を認めるということで、到底納得できません。関西電力は決定を受け、今年1月29日の高浜3号機の再稼動に向けて着々を作業が進めています。

越前市議会は説明を

私たちの会は、昨年2月末に越前市議会に「高浜原発3、4号機の運転再開に反対する意見書」の採択を求める請願を提出し、請願者として趣旨の説明もしました。しかし、3月、6月、9月議会で継続審議となり、12月の議会において「審議未了」との扱いになりました。実質的な不採択です。福島原発事故を経験し議会自らが再稼動反対の意見書採択をした輝かしい実績を持ちながら、このような結果を出した議会に対し、不信と憤りを感じます。市民として、過去の意見書採択した歴史からも納得できないという方は多いのではないでしょうか。越前市議会は市民に対して説明する責任があると思います。

防災計画策定の矛盾

先日、大飯町(現おおい町)元助役・永井學氏の聞き取りを基にした「大飯原子力発電所はこうしてできた(公人社)」の中で、原子力防災対策に関する興味深い発言に出くわしました。氏は大飯原発1~4号機の受け入れを実務面で担い、併せて振興計画の立案・実施を牽引したとのことです。以下引用します。

金井:防災計画をつくるというのは国側から言ってきたことで、大飯町は本当はつくりたくなかったのですか。

永井: (略) 安全性が確立されているのに原子力防災計画をつくって、避難訓練までやる、ということにな

ったら、立地は進みません。「やっぱりだめなのだろう。そのために訓練もせよ、避難もせよ、避難 場所も決めろ、ということだろう」と。

(略) うちや高浜や玄海は、「原子力発電施設は安全性が確立されているから大丈夫」という前提で 誘致をしているのです。(略) いまさら「万一のことを考えるための防災計画が要ります」と言うと、 町民を騙したことになりませんか。

国は当初大飯町に対し、「一般の防災基本計画で足りるのではないか」と答えていましたが、スリーマイル事故を境に防災対策の必要性を認識していったことを永井氏は述べています。問題は「安全性が確立されているから大丈夫」という大飯町の誘致側の前提と原発の事故に備えることが矛盾する点です。

この解決に当たってとられた方法は、昨年、西川知事が高浜原発の再稼動を了承するために国に要請した 5つの条件とつながります。つまり、スリーマイル事故を踏まえ、当時の大平総理が閣議で防災計画の作成 を指示し、それを国土庁が県を通じて立地の自治体に伝えるという、国が決め、地方がそれを実施するとい う「流れで(矛盾を)受け入れる」ということです。

これからの活動

このような事実を知るにつけ、市民が関心を持ち、行政をチェックしていくことの重要性を痛感せざるを 得ません。

今年は(昨年も開催を要請しましたが)、越前市議会に対して上記請願に関する市民との対話を求め(昨年断ってきた理由が明確ではない!)、また、新たな請願も行いたいと思っています。皆さん、諦めず前向きに原発のない社会を目指し、市民として声を上げていきましょう!

=今年も3.11メモリアルアクション開催=

*日 時:3月13日(日)時間未定

*会 場:小浜市文化会館

* 賛同金:500円

・嘉田前滋賀県知事

・福島の被災者など

私たち国民は憲法に護られて暮らしてい ます。暮らしにどうつながっているの?ど んなふうに護られているの?…

エッセイストのスウさんの「やさしい憲法 の話」であなたの疑問が解けていきます。 そして、大事なことは何かを考えるきっか けとなることでしょう。

「スウさんのやさしい憲法の話」 開催

· 日 時:2月27日(土)13:30~

・場 所:越前市福祉健康センター(平和堂4F)

参加費:500円*託児あります

・主 催:「スウさんのお話しを聞く会」実行委員会

*問合せ・連絡先 0778-42-1396 (五十嵐)

私たち「原子力防災計画を考える越前市民の会」も実行委員会に参加しています。

ぜひお友達にもお声かけお願い致します

詳しくは同封のチラシを